

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31208	心のはたらき Psychology	浜 えりか			2	選択	1・2前期
科目の概要							
心のはたらきを学ぶことは、自己と他者、自己と社会がどのように関わり合っているのか知ることにつながります。そしてそれは、これからどのような自分として、どのように生きていくのか、考えるヒントとなり得ます。本講義では、心のはたらきを学ぶことで、自己のあり方について柔軟かつ客観的に考えられるようになることを目指します。また、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で問題解決する力を養います。尚、ディプロマポリシーの②、③、④、⑥に相当します。							
学修内容				到達目標			
① 心理学という学問について理解する。 ② 「心」というものの捉え方について考察する。 ③ 「心」について学び、自己のあり方を考察する。 ④ 「心」に関する問題や心理療法について概略を理解する。 ⑤ pisa型学力を身につけ、日常生活や社会生活における活かし方を検討する。				① 心理学に関する諸理論について理解し、説明することができる（ディプロマ・ポリシー②に相当）。 ② 「心」の捉え方について、自分なりに考察することができる（ディプロマ・ポリシー③に相当）。 ③ 「心」に関する基礎的知識を用いて自分の考えを述べられる（ディプロマ・ポリシー③に相当）。 ④ 「心」に関する問題や心理療法の概略を理解し、説明することができる（ディプロマ・ポリシー②に相当）。 ⑤ 心理学の活かし方について検討し、生活に関連させて考えたことを記述できる（ディプロマ・ポリシー④、⑥に相当）。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	知識や技能の習得のために自ら予習や復習をすることができる。また、調べ学習等自発的に課題に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	ワークに前向きに、粘り強く取り組み、理解を深めることができる。課題を期限までに提出することができる。					
考え抜く力	課題発見力	講義やワークにおいて、疑問を抱いたり自己の課題に気づいたりしながらそれらを体験的に結びつけることができる。					
	計画力						
	創造力	多角的な視点で事例や理論を捉えることができる。					
チームで働く力	発信力	獲得した知識や技能について、他者に対してわかりやすく的確に表現できる。					
	傾聴力	講義において説明される事柄について、自身の立場に置き換えながら聴くことができる。グループワークにおいて、相手の意見と自分の意見を擦り合わせながら取り組むことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行できるようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しない。授業資料を共有、プリントを適宜配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
資格：ピアヘルパー							
学修上の助言				受講生とのルール			
「心」は目に見えないあいまいなものです。皆さんにとって身近なものでもあります。講義で扱う内容について、「自分だったらどうかな？あの人だったらどうかな？」という視点をもって考えてみてください。ご自身の日常と照らし合わせることで、きっと「心」への理解が深まるはずです。				20分を超える遅刻をした場合は欠席とみなします。講義は集中して聞き、グループワークには積極的に参加してください。今後の生活に役立つ内容にしていくには、皆さんの意識と協力が必要です。予習復習をして臨むようにしてください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		30	①	✓	講義内で扱う理論に関する基本的な定義、概念について中盤に中テストを実施する 到達目標は以下の通り。 ①心理学に関する諸理論について理解し、説明することができる。 ④「心」に関する問題や心理療法の概略を理解し、説明することができる
					②	✓	
					③	✓	
					④		
					⑤		
		レポート		50	①	✓	①講義内で扱う理論やワークに関するレポート（リアクションペーパー）の提出を毎回求める。 ②授業の最後にまとめレポートの提出を求める。 基礎知識について体験的に理解し、多角的な視点を交えながら自身の見解を論理的に述べられるかを評価する。 到達目標は以下の通り。 ・「心」の捉え方について、自分なりに考察することができる。 ・「心」に関する基礎的知識を用いて自分の考えを述べられる ・心理学の活かし方について検討し、自己の生活に関連させて考えたことを記述できる。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①	✓	カウンセリング演習、演習の振り返りを評価する。 到達目標は以下の通り。 ・演習を通して学んだことを考え、説明できる。 ・実践を踏まえて理論に言及することができる。
					②		
					③		
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	レポートやテストへの取り組みから以下のことをポイントとして評価を行う。 主体性：予習復習、調べ学習等の自主的な学習を行うことができる。 実行力：ワークに前向きに粘り強く取り組み、理解を深めることができる。課題を期限までに提出することができる。 課題発見力：ワークに取り組みながら、知識と体験とを結びつけることで自らの課題に気づくことができる。また、疑問を持つことができる。 創造力：多角的な視点で事例や理論を捉えることができる。 発信力：獲得した知識や技能についての確に表現できる。 傾聴力：講義において説明される事柄について、自身の立場に置き換えながら聴くことができる。ワークにおいて、相手の意見と自分の意見を擦り合わせながら取り組むことができる。 規律性：遅刻・無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行できるようルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)：講義で扱う基礎知識について9割以上理解できている。それに加え、レポート課題において多角的な視点や体験的理解を交えて自身の見解について論理的に述べることができる。</p> <p>A(優)：講義で扱う基礎知識について8割以上理解できている。それに加え、レポート課題において多角的な視点や体験的理解を交えて自身の見解について論理的に述べることができる。</p>	<p>B(良)：講義で扱う基礎知識について7割以上理解できている。またはレポート課題において自身の見解について論理的に述べることができる。</p> <p>C(可)：講義で扱う基礎知識について6割以上理解できている。またはレポート課題において自身の見解について文章としてまとめることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 心のはたらきを学ぶとは？	講義 グループワーク レポート	「心のはたらき」で学ぶこと、意義を理解できる。	予習：シラバスを読み、講義で学ぶことを理解しておく。 復習：講義内容を振り返り、考えたことをリアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「心」とは？心理学とは？ それぞれの歴史や定義について学ぶ。	講義 グループワーク フィードバック レポート	心理学の歴史や関連領域に関する基礎知識を説明できる。 それらについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容をまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	性格・パーソナリティの基礎理論を学ぶ。	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	性格やパーソナリティに関する基礎理論について説明できる。 それらについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4	発達心理学の観点から、ライフサイクル論について学ぶ。	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	発達心理学の基礎理論について説明できる。 それについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	社会心理学の観点から、対人認知、対人関係に関する理論を学ぶ。	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	対人認知に関する基礎理論を説明できる。 それについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	感情心理学とに関する理論を学ぶ	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	感情心理学に関する基礎理論を説明できる。 それについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	集団心理学の観点から、集団内で起こり得る心のはたらきについて学ぶ。	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	集団における心理学の基礎理論について説明できる。 それについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	服従実験や援助行動について学ぶ。	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	服従実験や援助行動にまつわる基礎知識を述べられる。 それらについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ストレス、心の問題や精神疾患について学ぶ	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	ストレス、レジリエンスそれぞれに関する基礎知識を説明できる。それらについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
10	中間テスト これまでの講義内容を振り返り、自分の考えを答える	中間テスト 講義	これまでの学習内容のうち6割以上答えることができる	予習：中テストに向けた学習に取り組む 復習：中テストの振り返りをする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	アセスメントについて学ぶ。	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	心の状態を見立てることや心理検査について説明できる。それらについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	心理療法（精神分析・クライアント中心療法など）について学ぶ。	講義 グループワーク フィードバック 小テスト・レポート	心理療法の内容について簡潔に説明できる。それについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	心理療法（認知行動療法・マインドフルネスなど）について学ぶ。	講義 グループワーク レポート	心理療法の内容について簡潔に説明できる。それについて自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	カウンセリング演習① 理論編	講義 グループワーク レポート	カウンセリングをするための基礎理論について説明できる。実践をするにあたって自身の考えを述べられる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：講義内で指示する内容について考えたことをまとめ、リアクションペーパーで提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	カウンセリング演習② 実践編	講義 演習 まとめレポート	カウンセリング手法を実践し、学んだことを説明することができる。これまでの授業の学びを振り返り説明することができる。	予習：前時に提示したことに取り組む。 復習：これまでの授業内容を振り返り、まとめレポートを提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力